

令和5年度 第2回まちづくりミーティング

日時：令和6年2月19日（月）16：30～17：20

場所：福知山公立大学4号館1階 セミナールーム

団体：福知山公立大学 公認サークル「FGR」

○主な話し合いの内容

市長（あいさつ）： 本日は、若い世代の皆様と話をさせていただくことを楽しみにしていた。また、生成AIについては、まだ分かっていないことも多いので、教えていただくことも多いと思う。

今後、生産人口が減少していく中でこの生成AIの活用は非常に有効であると考えている。そのために、本市としてもChatGPTを試用したものの効果的な活用方法についてアイデアが生まれにくい状況である。

本日の話の中でもそういったヒントが出ればと思っているので、よろしく願います。

団体：～メンバーの自己紹介、団体の活動紹介、業務導入提案～

団体：生成AIとはどのようなものか、ChatGPTの良い点、悪い点等の紹介
文書作成や要約構成等の業務への導入提案
北近畿最大規模のAIの祭典を開催するという目標の紹介

【活動紹介、業務導入提案に関する意見交換】

市長： 文書の作成や要約構成にAIを活用することは、職員の中でも考えているが、その他、幅広い形でAIを活用できないか考えていきたい。例えば、高齢化が進む農業分野の作業を代替できるようなことはないか。

団体： 作業の代替であればロボットが適しており、AIは不要であると考えている。

市長： 市役所の業務は非常に幅広い業務があるので、要約や文章構成のほかにも幅広い業務に対応できるようになればありがたいと考えている。市役所の業務内容のイメージはつくか。

団体： 正直イメージができないところもある。

市長： 市役所の業務内容を知っていただくことで、様々な提案をしていただくことができると思うので、そういった連携をしていきたいと考えている。

市長： 先程のプレゼンで法人化を目指しているとあったが、どのような考えを持っているのか

団体： サークルのままでは、実績を積んだとしても経験を積み上げることが難しいと考えている。また、研修等を請け負う場合においても、学生のサークルとしてではなく、プロフェッショナルとして見ていただきたい気持ちがある。さらに学内には起業を目指している学生もいるので、経験の場にもなればよいと考えている。

市長： 若者に限らず、様々なことにチャレンジ精神をもって挑戦する人が現れることは非常に重要だと考えているので、ぜひ頑張ってもらいたい。

団体： 今までGPTsの作成をして納品して終了だった流れを、その後のサポート業務等で安定した収入にすることなども考えており、挑戦していきたいと思う。

市長： その他、何か考えなどはないか。

団体： デザイン分野等でもAIを活用することもできると思うので、例えば、本日掲示されている「まちづくりミーティング」の横断幕のデザインなどできると考えている。

市長： そのように市の業務に取り入れてもらうことは非常にありがたいが、行政で使用するにはルールも必要になってくると考える。

団体： それは絶対に必要である。ガイドラインを作成するにあたっては知識・理解が必要になってくる。

市長： そういったところも教えていただきながら進めていきたいと考える。

団体： 意見交換の途中であった「農業分野」に関連すると、AIで画像分析もできるので、例えば商品の出品の際の分別などであれば、うまく活用できることも考えられる。

市長： 本当に幅広い業務を考えることができると思うので非常に期待をしている。

